

## 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

## 事業名 観光人材確保推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光文化スポーツ政策課  
サステイナブル・ツーリズム推進室  
サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,500 千円 (前年度予算額： 10,000 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	2,500	1,250	0	0	0	0	0	0	1,250
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

観光産業は、コロナ禍における他産業への人材流出や急速な観光需要の回復などにより人材不足に一層拍車がかかっており、これらの影響により、観光産業のイメージが低下し、興味があっても就職をためらう者が増えてしまった。

近年、就職活動における情報収集手法として、SNSや動画での情報収集が中心となっている。動画は短い時間で仕事内容、やりがい、先輩の声、地域の魅力などを伝えることができるのが魅力であり、常日頃から動画をみる世代へのアプローチとして有効な手段である。

県内の観光事業者や観光団体へのヒアリングにおいても、自社の魅力発信に必要な動画制作に係る経費を支援してほしいといったニーズがあり、本事業の実施が求められる。

## (2) 事業内容

県内観光事業者等が、自社で働く魅力を発信するための動画作成に要する経費の一部を補助する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

＜補助上限額＞50万円

＜補助率＞補助対象経費の1／2以内

＜想定件数＞5件

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,500	観光人材確保推進事業費補助金
合計	2,500	

## 決定額の考え方

## 4 参 考 事 項

### (1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

○県経済・雇用再生戦略

6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト

(3) 地域連携による観光人材の確保・育成

### (2) 国・他県の状況

観光人材の確保は、国等でも取り組まれている。

### (3) 後年度の財政負担

短期的に解決できる問題ではなく、一定期間、継続して行う必要がある。

### (4) 事業主体及びその妥当性

本事業は県内観光産業の振興を目的とする事業であり、県が主となることは妥当。

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	観光人材確保推進事業費補助金
補助事業者（団体）	県内観光事業者等
補助事業の概要	県内観光事業者等が、自社で働く魅力を発信するための動画作成に要する経費の一部を支援
補助率・補助単価等	定率 (内容) 補助率1/2、上限500千円 (理由) 他県の類似事業と同等の補助率及び上限額を設定
補助効果	観光産業のイメージアップ、観光人材確保の促進
終期の設定	終期：令和9年度

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 観光事業者等が自社や地域の魅力を発信する動画を採用活動等で活用することにより、観光産業のイメージ向上と観光人材確保の促進を図る。
---

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①補助金交付事業者数（延べ）			20件	5件	30件	

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<div>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</div>
令和5年度	<div>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</div>
令和6年度	<div>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</div>

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	コロナ禍を経て観光需要が増加する一方、観光産業は一層人材不足の状態であり、十分に需要を取り込めていない。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	ニーズに合わせて予算を適正規模に見直し、効率的な事業実施を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県が「世界に選ばれる観光地」としてさらなる成長を遂げるためには、本県観光産業の人材確保を進め、観光客の受入体制を整える必要がある。
---

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 観光産業の人材確保は短期的に解決できる問題ではなく、引き続き事業の継続が必要である。
--